

## 開高 健

僕は開高 健の大ファンである。ずっと前からである、もう 30 年以上も前からである。



何故かと聞かれても判然としないが、小説やエッセイを読んでいるうちに自ずとそうなってしまったのである。他のものは読んだら捨てるか、売ってしまうのだが彼の作品だけは、後生大事に保管して、時々読み返している。



今日、2008 年 9 月 12 日であるが、念願の「開高健記念館」に行って来た。JR 茅ヶ崎駅で下りて、その南口からバスに乗って東海岸北 5 丁目で下車して海に向かって 600m ほど歩くと、開高が 1974 年から生涯を閉じる 1989 年まで 16 年間の作家活動をした邸宅が「開高健記念館」として残されている。

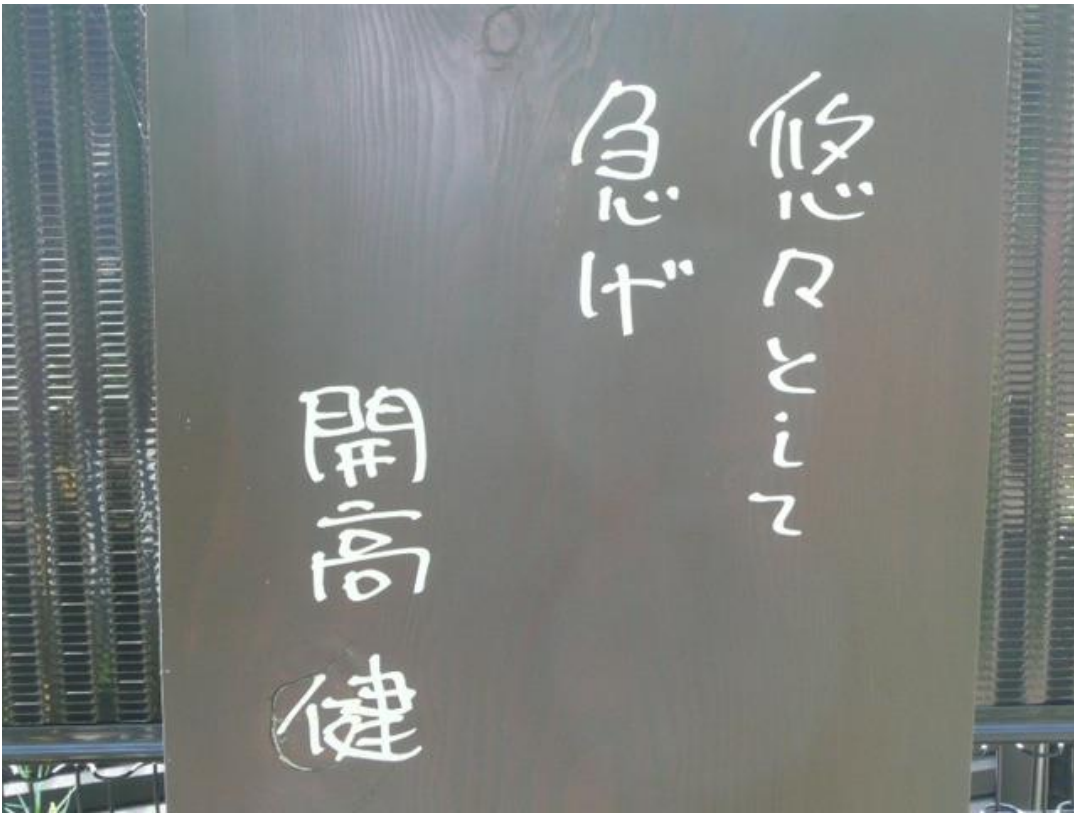


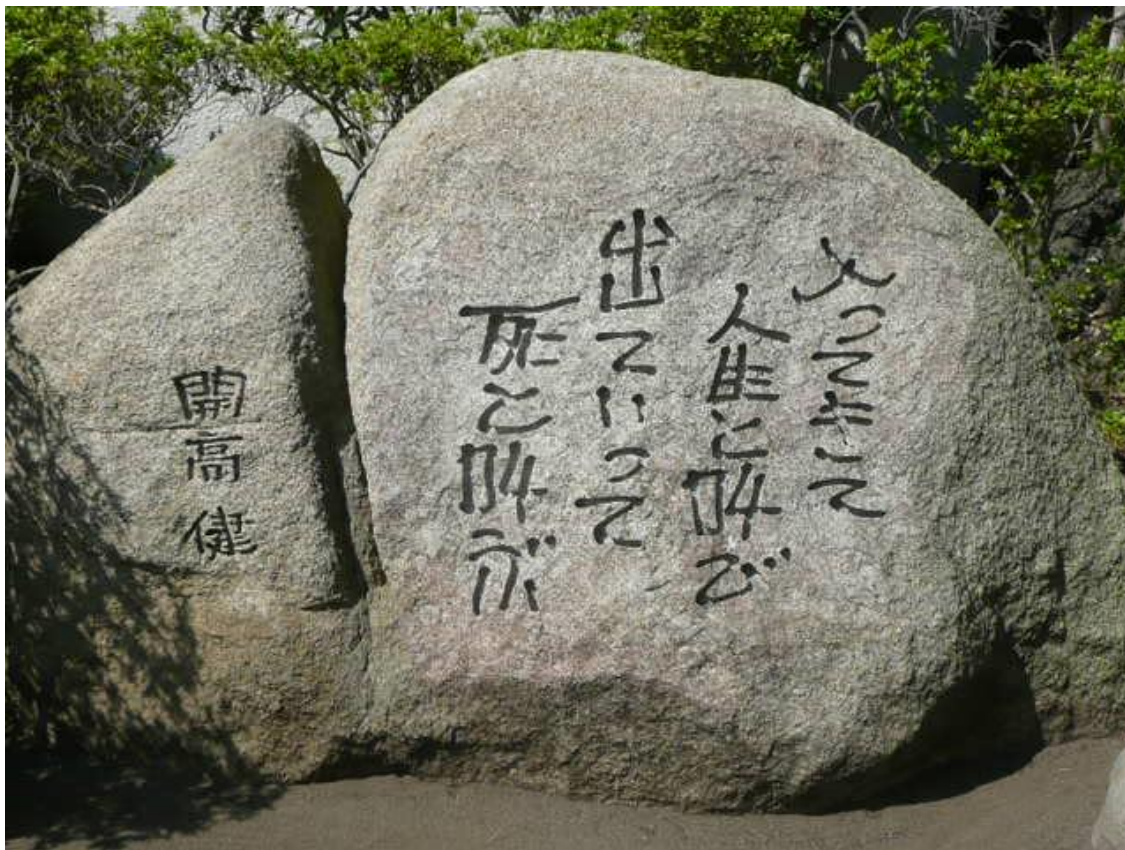


門をくぐると、2つの碑が出迎えてくれる。



この2つだ。





思わずニヤリとさせられ、う〜んと唸られるではないか、諸君！

大きな家である。彼はここに 1974 年に東京の杉並から引っ越してきた。ここは大正天皇の静養地の跡地なそうな・・・。

館内に足を踏み入れると、本やTVで紹介されたものが処狭しと展示されている。暫くご覧あれ。







行き詰ると、釣りや猟に出かけた。奥只見やアラスカ、そしてアマゾン、モンゴル etc。